

【授業検討会】

1. あいさつ(八木山南小 松岡校長先生)

- ・会場校のみなさんへ、ご準備とご協力ありがとうございます。
- ・授業をレストランに例えると、料理のアレンジが授業、教師がシェフ、お客さんが子供たち。目の前の子供たちを相手に、シェフである教師がどのように料理をアレンジして仕上げていくか。今日の授業でも多くの学びがあった。
- ・参観者の一人一人がシェフとして明日から子供たちの前に立つとのために持ち帰るものがある検討会にしたい。

2. 授業者自評(袋原小学校 木村先生)

- ・人の主観が入っている数値データを授業で扱う是非はどうだったか。
- ・データの数値の設定は、子供たちの思考を促すものになっていたか。
- ・時間配分をどう工夫するとよいか(グループ・分析・議論)
- ・中央値とドットプロットが分析の肝だと感じていたが、時間もかかった。どのように分析させるとよかったか。

3. 全体に関わる意見や質問

○桜が丘小の先生

- ・架空のデータの意図はどこにあったのか。
 - 子供が批判的に考察できる(意見が割れる数値設定)
 - 分析方法によって見え方が変わる。(分析の仕方では思考が変わる...見方考え方が働く)
- ・データの数をA20個、B18個としたのはどうしてか?なぜ揃えなかった?
 - 来店者数の差を人気の差だと勘違いする子供がいるのではないか。
 - 分析の時間を考慮するともう少しデータの数を減らしてもよかったのではないか。

○八木山南小の先生

- ・どのように評価をしようと考えているか。
 - アンケート(学習感想)...算数のどの単元でも実施している内容の「学んだこと」「前と今とのちがいがい」「学習をどう生かしたいか」という内容で評価する。

○若林小の先生

- ・何を根拠に子供はA店が人気店と判断したと思うか。
 - ちらばりを重視する子が少なかったため
 - 代表値や多いものの割合に表から着目する子が多かったため
 - 低い数値を外れ値として除外して考えている子が多かったため

○附属小の先生

- ・肝は中央値にした意図は？
- 中央値は変わりづらいという特徴を生かせる
- ⑱の1.0を抜いても中央値は変わりにくい

4. 各小グループでの意見交換

5. 各グループからの意見

○視点1「児童の生活に即した問題場面の設定」について

- ・子供たちが問題意識をもって学習に取り組んでいた。

○視点2「2店舗のお好み焼き屋の評価の数値のズレ」について

- ・子供の思考を促す数値になっていた。
- ・A店の1.0の評価に触れることで子供へのゆさぶりをかけることができていた。
- ・A、Bともに平均値を3.5、データの数値を20に揃えてもよかった。
- ・数値をパット見て、詳しく分析する前に個々の考えを出す時間があったのもよい。
- ・星を5段階ではなく、10段階で提示すると小数が少なくなり扱いやすくなる？

○データの分析の仕方について

- ・スプレッドシートで分析することで時間短縮を図ることができる。

○時間設定について

- ・分析も大切だが、分析結果を基にした議論を重要視させたい。その場合、2時間扱いにしてもよかったのではないか。
- ・分析に時間がかかるので、分析結果を提示してしまうというのもあり。（議論重視）
- ・45分間の中で自分の考えを書かせる時間を確保したい。→評価にも生かせる。

○めあての設定

- ・人気店でなく、おすすめに着目させることで「ちらばり」に着目させることができていた。

○ロコミの提示について

- ・子供が分析したことの答え合わせになってしまっていた。一方、分析結果との合致に納得している子供も見られた。どのように扱うとよいか吟味が必要。

○ネットリテラシーについて

- ・授業の終わり方として「ネットリテラシー」で終わるのは算数的ではないと感じた。

6. 指導助言(蒲町小 奥田教頭先生)

<授業の様子>

- ・授業者...オリジナル教材を用いたチャレンジングな指導案でわくわくした。提案性あり。
- ・子供...とても反応がよい。反応が薄い子への語り掛けもしっかりしていた。子供同士での学び合いもとてもよい。グループ活動では、何度も確かめながら行う子供の姿

<検討会の内容>

- ・時間配分...本時のねらいに迫る時間配分を考えることが大事。
→フェラーリのデザインは100~200個考えて、使うのは1, 2個。授業の手立ても同じ。
- ・人気とおすすめ...言葉の違いで「ちらばりの特性」、「裏にあるストーリー」の見え方が変わる。
- ・問題場面...生活に即して考えさせられる場面
- ・数値のズレ...工夫が見られた。教科書の数値にも意図があるが、それ以外にも考えさせたいことがある場合は、意図をもって設定する必要がある。
- ・日々の積み重ね...子供たちの姿に日々の積み重ねを感じた。
- ・ネットリテラシー...授業者の情熱を感じた。カリマネを踏まえて、算数だけで終わらせずに、教科横断的にどのように生かすかを考えることが重要。

<まとめのポイント>

- ①ねらいをどうするかで授業は変わる。
- ②主体的な学び→見通し、粘り強く考え、振り返り、どう次につなぐか。

PPDAC...統計的な問題解決の方法を理解させてくことが大切。

授業提供に感謝「恩返しと恩送り」

- ・一人の授業を30人の先生が見る。
→30人の先生が30人の子供たちへ学んだことを授業で送る。
→一人の授業から得た学びが、900人の子供たちに届いていく！！
- ・今日、学びに来た人にだけ学びのチャンスがある。